

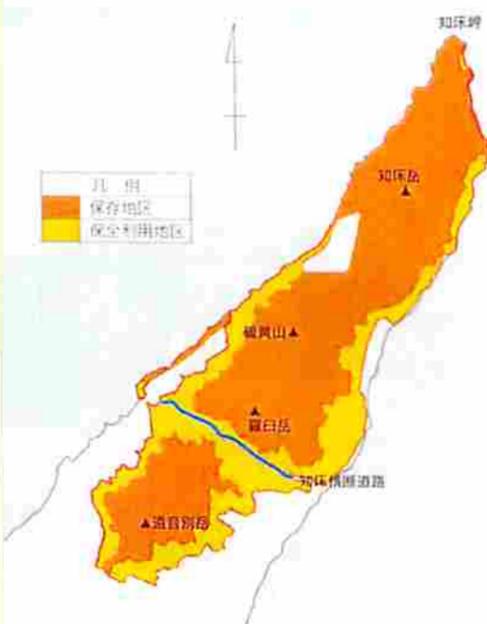
## 知床森林生態系保護地域の面積を3割拡大しました

平成15年度に開催した森林生態系保護地域設定委員会（3回開催）の協議結果などを受け、関係する第二次地域管理経営計画書変更計画書（網走東部森林計画区）外の変更手続きを行っていましたが、これを了したので、4月1日から区域を遠音別岳周辺まで拡充し、面積を46,004haに拡大しました。

管轄	地帯区分		
	保存地区 (コア)	保全利用地区 (ハッファー)	計
網走南部署	17,936 (14,611)	5,331 (2,957)	23,267 (17,568)
根釧東部署	13,979 (11,210)	8,758 (6,749)	22,737 (17,959)
計	31,915 (25,821)	14,089 (9,706)	46,004 (35,527)

( )はH16.3.31までの数値

なお、併せて、『知床半島緑の回廊』の延長及び面積が、それぞれ36km、12,397haに変更になりました。



北海道森林管理局 知床森林センター  
〒099-4113 北海道斜里郡斜里町本町11番地  
電話 01522-3-3009 FAX 01522-3-3160  
ホームページ <http://www.shiretoko.knc.ne.jp/>



(写真：チングルマ)

## 知床は今

知床の海からは早々と居座っていた流氷が去り、今年は例年にない大雪のため知床では雪がうずたかく積もりましたが、道端の雪も融け春の訪れを日を追う毎に感じています。雪融けが早い南向きの斜面にはフキノトウの淡い緑をあちらこちらに見ることができ、知床の厳しい冬の終焉を告げています。

森の雪融けは、木の根元から始まります。雪と木の幹の太陽光の反射率の違いが原因となって木の根元周囲の雪が融け、ぽっかりと大きな雪融けの穴ができます。その穴に落ちないように気を付けて森の中を歩いていると、雪融けの穴にはフクジュソウの黄色い蕾がほころびようとしていました。まだ、冬の足音が残る知床で、雪に囲まれながら花開こうとするフクジュソウの生命力の強さを感じます。

一方、センターからあたりを見渡すと、茶色かった木の枝が日に日に緑に塗り変わっています。その公園の芝生には、青紫の鮮やかなエゾエンゴサクの花があちらこちらに彩りを添えています。

春の足音が迫るに連れ、キタコブシの蕾が花を咲かせ、フクジュソウの黄色い花が咲き、エゾエンゴサクの紫の花が絨毯のように咲き乱れ、花咲く知床の春の到来を身近に感じます。



フキノトウ



フクジュソウ

## ＝職員紹介＝ 新たに2名の職員がセンターに配属されました

4月1日付けの異動により緑化第1係に配属されました **清水亜広** です。  
趣味は映画鑑賞・運転などです。出身は帯広です。特技はだいたいの機械の操作が得意です。人前で話す行事があり、人見知りをする私としてはとても不安ですが、精一杯がんばりますので、よろしくお願いします。

4月1日付けの異動により緑化第2係に配属されました **根津浩幸** です。  
斜里郡はこれまで清里町に2度ほど住んでいましたが、今回は津別町からの通勤をしています。仕事は初めての分野なので少しずつ覚えながらとなりますが、よろしくお願いします。

## ホームページへのアクセス数が年間3万件を超えました

当センターのホームページに、平成15年度中に約3万2千件（対前年度比107%）のアクセスをいただきました。アクセス数は、夏休みと流氷接岸の時期が多いようです。今年度もさらに内容を充実するよう、職員一同取り組みますので、よろしくお願いいたします。

# 今年のイベント計画が決まりました よろしくお願ひします

今年度のセンターのイベント計画が決まりました。

皆さんを『世界自然遺産候補地＝知床の森林』へご案内します。いずれも選りすぐったコースです。四季それぞれに、様々な自然との出会いが期待できます。

また、斜里町立知床博物館のご協力により、より内容を充実したイベントにしていきます。

なお、詳細については、開催日が間近になった時点（1ヶ月前頃）で、ホームページ、市や町の広報誌、新聞などでお知らせいたします。



昨年の実施状況（歩くスキー）

## ◎ 森林レクリエーション・in知床

実施月日（曜日）	行 事 内 容	実 施 場 所	募集人員
平成16年 7月 8日（木）	知床の森に幌別川の滝を探して	自然観察教育林	23名
8月 5日（木）	神秘の羅臼湖と五つの沼巡り	羅臼湖	23名
9月 9日（木）	初秋の知床硫黄山を訪ねて	知床硫黄山 新噴火口	23名
平成17年 3月 3日（木）	フレベの滝周辺の森を歩く スキーで散策	フレベの滝周辺	23名

## ◎ 森とのふれあい

実施月日（曜日）	行 事 内 容	実 施 場 所	募集人員
平成16年 6月13日（日）	初夏の知床の森で地球温暖化 について考えよう	ボンホロ沼、セン ター庁舎敷地内	23名
10月16日（土）	ドングリ調査とイチイ鹿害 対策（網巻）体験	イチイ林木遺伝資 源保存林外	30名
11月21日（日）	森の恵みのクリスマスリー ス作り	センターセミナー 室	30名
平成17年 1月15日（土）	冬休み親子木工体験	センターセミナー 室	30名
2月19日（土）	歩くスキーで大栄の森を探検	濤釣沼周辺の国有 林	30名

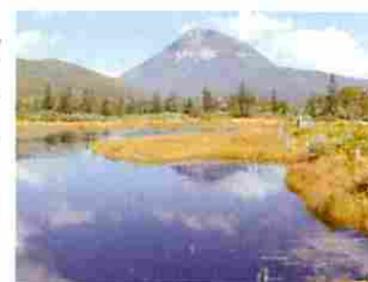
### ○ 知床自然観察教育林（7月）

樹齢数百年、胸高直径1m超のミズナラ大木が生い茂った森林の中を、クマゲラの食痕やヒグマの爪痕を見ながら、森林の奥深くへ入っていきます。幌別川の清流に連なる轟きの滝（写真右）、クマゲラの滝を訪れます。



### ○ 羅臼湖（8月）

羅臼湖は周囲3.7km、目の前に知西別岳、後ろを振り返れば天頂山が見える山に囲まれた、閑静な隠れた名所です。羅臼湖へ至る遊歩道沿いには大小5つの沼（写真右：三の沼）や湿原が点在し、高山植物を観察することができます。天候が変わりやすく、晴天に恵まれる日は多くありませんが、今年こそは晴れることを願っています。



### ○ 知床硫黄山新噴火口（9月）

道道知床公園線沿いの登山道入口から標高約700mの噴火口まで、森林の中や岩場を風景を楽しみながら登ります。天気の良い日は途中で振り返れば、紺碧のオホーツク海やカムイワッカ湯の滝を見ることができます。新噴火口（写真右）からは今も硫黄の噴気が上がっており、岩石が地熱で風化し植物が全く育たないガレ場となっています。



### ○ フレベの滝（3月）

オホーツク海に流れ落ちるフレベの滝周辺の森林を「歩くスキー」で散策します。滝の上部に広がる雪原では、エゾシカの群れや流水を眺めたり（写真右）、断崖付近の森林を巡りながら、冬の知床を満喫できます。途中にはエゾモンガの食痕やエゾクロテンの足跡などもあります。



## R 3 3 4 知床横断道路開通

昨年10月下旬から冬期間通行止めとなっていた知床横断道路が、4月28日（水）10時に開通しました。斜里町側の幌別ゲート前では、9時40分から関係者や観光客など約150名が参加し安全祈願祭が催されました。

なお、夜間路面凍結のおそれがあるため、当分の間は午前10時から午後3時30分の間のみ通行可能となります。

ちなみに、知床五湖までの道道知床公園線と町道は、23日（金）11時に開通しております。



関係者によるテープカット